

7. 指導事業

7.1 技術相談

中小企業から受ける技術相談・指導の依頼に対して、電話・来所あるいは現地に出向いて技術的課題を解決した。相談件数は約 47,500 件で、昨年と比べて約 200 件の増であった。

相談の方法は、電話等が 78%、来所が 22%。企業の規模別では中小企業が 78%であった。内容では、評価技術、製品開発、品質向上、分析技術が多かった。業種では、電気機械、繊維工業、卸売・小売業、精密機械が多かった。

1) 相談の方法および対象

	合計	方 法		対 象			
		来所	電話等	中小企業	他企業	個人	不明・他
件 数	47,566	10,604	36,962	36,916	5,961	961	3,728
比率 (%)	100.0	22.3	77.7	77.6	12.6	2.0	7.8

2) 相談（来所・電話等）の内容

区 分	件数	比率 (%)
公害	258	0.5
環境・福祉	802	1.7
製品安全	2,921	6.1
省力・エネ・資源	407	0.9
品質向上	5,586	11.7
評価技術	13,955	29.2
管理技術	1,594	3.4
生産性	274	0.6
新技術利用	1,265	2.7
新素材利用	694	1.5
製品開発	7,740	16.3
加工技術	2,240	4.7
デザイン	1,175	2.5
ソフトウェア	505	1.1
分析技術	3,259	6.9
放射線技術	2,537	5.3
その他	2,354	4.9
合計	47,566	100.0

3) 相談企業（来所）の業種

業 種	件数	比率 (%)
水産・農林・建設・食品	104	1.0
繊維工業	1,096	10.3
衣服・その他の繊維製品	419	4.0
木材・家具・紙・パルプ	99	0.9
印刷・出版	56	0.5
化学工業	241	2.3
石油・プラスチック・ゴム	210	2.0
窯業・土砂	235	2.2
鉄鋼業	28	0.3
非鉄金属	108	1.0
金属製品	498	4.7
一般機械	362	3.4
電気機械	1,589	15.0
輸送用機械	157	1.5
精密機械	706	6.7
その他製造業	227	2.1
電気・ガス・運送・電気通信	17	0.2
卸売・小売業	745	7.0
協同組合・事業サービス	134	1.3
情報サービス	217	2.0
その他サービス	95	0.9
学術研究・教育機関	130	1.2
公務	33	0.3
分類不能	3,098	29.2
合 計	10,604	100.0

7.2 技術アドバイザー指導事業

東京都技術アドバイザーとして、高度な専門知識および経験を有する専門家を産業労働局長が登録し、中小企業の製品開発あるいは製造工程などについて、技術指導を行った。

業種	企業数	日数	主な指導内容
化学工業	3	46	貴金属の高純度化とその化合物の合成について
窯業・土砂	1	9	石英ガラス・液晶関連ガラスの特性評価について
金属製品	18	150	ISO14001の取得について
一般機械	8	63	ガラス切断機の振動制御について
電気機械	16	78	LEDの全光束・輝度測定と技術向上
精密機械	9	86	三軸ローターの軸の強度・寿命計算について
繊維工業	3	41	新規ブランドの型紙製作・修正について
その他の産業	12	112	イヤホンマイクのハウリング防止について
個人	1	2	曲げ金具の設計について
合計	71	587	

規模別（従業員数別）企業数

20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	その他(組合等)	合計
33	19	3	14	0	2	71

7.3 工場実地技術指導

都内中小企業の要請により、複数の職員または職員と外部指導員が現地に出向き技術指導を行った。平成16年度は総数1,049社、指導内容は製品開発に関するものが352件で最も多く、企業規模は20人以下の企業が367社(35.1%)であった。

平成16年度実績は次のとおりである。

指導内容	企業数 (カッコ内%)	指導事項の例
公害	11 (1.0)	・排水中のほう素の除去法について
環境・福祉	27 (2.6)	・屋上緑化用土壌について ・ブースターの動作音の低減について
製品安全	24 (2.3)	・電気メスの特性試験
省力・省エネ/資源	6 (0.6)	・シリコンウェハーの再利用
品質向上	101 (9.7)	・カットソーの品質向上について ・インクジェットプリントの品質向上について ・ねじ部品の締め付け試験方法 ・オイルセパレーターの小型化 ・ボルト製造工程の温度管理
評価技術	115 (11.0)	・タオルの吸水性試験 ・歯科インプラントの材料強度試験 ・鉛フリーはんだのウィスカ評価方法 ・LEDの温度測定 ・EMC規制について

管 理 技 術	31 (3.0)	・ ISO14001 の認証について ・ マグネシウム合金リサイクル品の有害元素分析
生 産 性	3 (0.3)	・ 光ケーブルの芯の挿入方法
新 技 術 利 用	51 (4.9)	・ アスペクト比の高い穴加工 ・ 小型 DLC コーティング装置の開発
新 素 材 利 用	12 (1.1)	・ ベッ甲・製品の艶引防止処理
製 品 開 発	352 (33.6)	・ 麻・絹交織織物のオパール加工 ・ 三宅島火山灰プリントの開発 ・ 微弱発光分光分析装置の開発 ・ 燃料電池用電極の開発 ・ 携帯電話破壊用プレス機の開発 ・ 小型焼却炉の開発 ・ 交流用 LED 回路の開発 ・ 米ぬかを利用した健康食品の開発
加 工 技 術	108 (10.3)	・ 手書き友禅の技法について ・ チタン引き抜き管の潤滑技術 ・ マイクロ放電加工によるダイヤの加工 ・ 旧首相官邸の建築および装飾品の改修および保存技術
デ ザ イ ン	48 (4.6)	・ 解し柄夜具地用デザイン ・ ピッグスキンを用いた商品のデザイン
ソ フ ト ウ エ ア	35 (3.3)	・ 電子透かし技術の活用
分 析 技 術	21 (2.0)	・ 鉛フリーはんだ材の分析技術
放 射 線 技 術	30 (2.9)	・ 医療用 R I 廃棄物の放射線滅菌技術について ・ 中性子検出器の開発
そ の 他	74 (6.8)	・ ネクタイの市場や消費者の動向 ・ 販路開拓
計	1049 (100.0)	

(従業員数別企業内訳)

人 数	20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	協会・団体等	不明	合 計
企業数 (カッコ内%)	367 (35.1)	200 (19.1)	67 (6.4)	73 (7.0)	28 (2.7)	78 (7.5)	236 (22.2)	1049 (100.0)

7.4 分野別技術支援事業

都内の中小企業団体等の抱える具体的かつ緊急な技術課題に対して、職員が無料で講義・実演等を実施した。参加人数は延べ 845 人、参加企業数は延べ 547 社であった。

担当課・室・グループ名	実施回数	主 な 指 導 内 容
八王子分室	17	繊維製品の品質管理に必要な試験とその評価
加工技術グループ	3	軽合金ダイカストの湯流れと強度特性
光音計測技術グループ	2	次世代照明用光源 - LED の特長と課題 -
製品科学技術グループ	8	小規模工業塗装工場の VOC 排出の現状と排気処理装置導入について
生活科学グループ	22	アパレル製品の開発支援と製品評価について
計	52	

7.5 研修・講習会

中小企業の技術者の技術能力の向上と中小企業の発展を図ることを目的として、材料、加工、エレクトロニクス、計測・分析、資源環境、情報、放射線応用、繊維・ファッションなどの各分野における最新の工業技術、繊維技術をテーマとした各種の研修・講習会を開催した。

1) 研修講習会 応募者・受講者数

種別	名称	担当 G・室	人数			規模				
			定員	応募	受講	日数	講義	実習	合計	昼夜
高等専門研修	電子技術	エレクトロ	20	26	20	10	24	36	60	昼夜
	ものづくりのための加工技術	加工	20	22	21	10	30	30	60	昼夜
	アパレル製品企画のためのCG活用 第1回)	生活	6	11	6	1	2	4	6	昼
	アパレル製品企画のためのCG活用 第2回)	生活	6	11	6	1	2	4	6	昼
	工業材料の分析と評価	材料	20	21	20	16	24	36	60	昼夜
	環境保全 分析技術	資源	10	6	6	10	3	27	30	夜
	情報化時代のJava活用技術	情報	20	12	10	9	18	22	40	昼夜
高等専門研修の合計 7件			102	109	89	57	103	159	262	—
分野別専門研修	エレクトロニクス製品開発のための信頼性技術	エレクトロ	20	33	20	3	9	9	18	昼
	ホームページ作成とサーバ 第1回)	情報	20	34	20	2	4	8	12	昼
	最近の照明と光利用技術	計測	20	46	27	5	18	12	30	昼
	放射線計測の基礎 第1回)	放射線	10	10	10	1	1	3	4	昼
	放射線計測の基礎 第2回)	放射線	10	10	10	1	1	3	4	昼
	3次元CAD 入門 第1回)	製品	14	19	14	1	2	3	5	昼
	3次元CAD 入門 第2回)	製品	14	22	14	1	2	3	5	昼
	機能性スクリーン印刷	製品	10	10	8	3	6	12	18	昼
	騒音・振動測定技術	計測	10	17	12	1	3	3	6	昼
	3次元CAD 入門 第3回)	製品	14	22	14	1	2	3	5	昼
	製品開発における電気的安全性と制御技術	エレクトロ	20	24	21	5	12	18	30	昼夜
	3次元CAD/CAE による構造解析	製品	16	35	16	3	4	11	15	昼
	繊維製品の評価技術	墨田	10	12	10	1	1	5	6	昼
	ワイヤレスネットワーク技術	情報	10	15	10	1	3	3	6	昼
	製品の性能評価	墨田	10	11	10	1	1	5	6	昼
	ホームページ作成とサーバ 第2回)	情報	10	21	20	2	6	6	12	昼
	測定器具の使用方法和精度管理	加工	36	27	13	1	2	4	6	昼
繊維製品の品質評価 応用)	八王子	10	10	10	1	0	4	4	昼	
ほう素規制に対応するニッケルめっき技術	資源	5	15	11	1	1	4	5	昼	
ニット製品の製造技術	生活	10	14	13	1	2	3	5	昼	
分野別専門研修の合計 20件)			253	407	283	36	80	122	202	—

新 技 術 セ ミ ナ ー	放射線安全取扱技術	駒 沢	60	48	45	1	6	0	6	昼
	クリーニング業の明日を考える	八王子	50	52	44	1	4	0	4	昼
	医療機器の無菌性と非発熱性の確保	放射線	60	64	57	1	6	0	6	昼
	2005 年秋冬ファッション予測	八王子	50	32	28	1	4	0	4	昼
	繊維製品のクリーニング	墨 田	50	52	44	1	4	0	4	昼
	2005 年ファッション・トレンド情報	生 活	50	70	59	1	4	0	4	昼
	MEMS (マイクロマシン) 技術	エレクトロ	60	36	31	1	6	0	6	昼
	クリーン環境技術	エレクトロ	60	40	37	1	7	0	7	昼
	2005～2006 年秋冬ヨーロッパ・ファッション情報 (第 1 回)	生 活	50	63	46	1	4	0	4	昼
	2005～2006 年秋冬ヨーロッパ・ファッション情報 (第 2 回)	生 活	50	79	56	1	4	0	4	昼
	切削加工の新潮流	加 工	50	105	97	1	6	0	6	昼
	製品開発とデザイン	製 品	60	86	70	1	6	0	6	昼
	アパレル業界のインターネット活用術	生 活	50	68	52	1	4	0	4	昼
	最近の騒音対策技術	計 測	60	52	43	1	6	0	6	昼
	ガラス製品の破損解析	材 料	60	147	121	1	6	0	6	昼
	放射線の人体影響	放射線	60	24	22	1	6	0	6	昼
	接着剤 建材のシックハウス対策と最近の動向	資 源	60	87	70	1	6	0	6	昼
	接合剤の新しい展開	加 工	60	61	60	1	7	0	7	昼
	光触媒技術の最新動向	生 活	50	53	46	1	4	0	4	昼
	医療 福祉機器の電気的安全性と製品開発	エレクトロ	60	164	145	1	7	0	7	昼
	ねじ部品の品質管理と最近の動向	試験室	60	173	146	1	6	0	6	昼
	2005～2006 年秋冬ファッション・トレンド情報 (第 1 回)	生 活	50	68	57	1	4	0	4	昼
	ナノカーボンの実用化に向けて	加 工	60	62	53	1	6	0	6	昼
	2005～2006 年秋冬ファッション・トレンド情報 (第 2 回)	生 活	50	62	42	1	4	0	4	昼
	全有機炭素 (TOC) 分析装置の原理と測定	放射線	60	47	43	1	6	0	6	昼
	ダイカストの製造技術と勘どころ	加 工	60	64	60	1	6	0	6	昼
	最近の環境規制と対策 - 欧州有害物質規制 指令の動向	資 源	60	174	141	1	6	0	6	昼
新技術セミナーの合計 27 件			1510	2033	1715	27	145	0	145	
総 計 54 件			1865	2549	2087	120	328	281	609	

2) 研修名・日程等

(1) 高等専門研修

製品の高度化、高品質化に対応できる総合的な研修を行い、優れた発想と技術開発力を持つ人材を育成する。

電子技術

月 日	科 目	講 師	
6月24日	アナログ回路設計法(1)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	都立産業技術研究所	職 員
6月25日	アナログ回路設計法(2)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	都立産業技術研究所	職 員
6月28日	I/O制御用シングルチップマイコン	都立産業技術研究所	渡邊 耕士
	(実習)I/O制御のためのプログラミング		職 員
6月29日	電子部品・デバイス活用技術	東京都技術アドバイザー	染谷 克明
	(実習)I/O制御のためのプログラミング	都立産業技術研究所	職 員
7月1日	信号処理技術	城南地域中小企業振興センター	三上 和正
	(実習)テーマ センサ技術	都立産業技術研究所	職 員
7月2日	EMC技術	都立産業技術研究所	寺井 幸雄
	(実習)テーマ センサ技術		職 員
7月5日	(実習)テーマ DSPによる信号処理	都立産業技術研究所	職 員
7月6日	(実習)テーマ EMC測定法と対策法	都立産業技術研究所	職 員
7月8日	マイクロマシンのセンサへの応用	(株)横河ヒューマンクリエイト	原田 謹爾
	(実習)テーマ 総合演習	都立産業技術研究所	職 員
7月9日	オプトエレクトロニクス	東京都技術アドバイザー	笹岡 逞二
	(実習)テーマ 総合演習	都立産業技術研究所	職 員

ものづくりのための加工技術

月 日	科 目	講 師	
6月28日	塑性加工	都立産業技術研究所	片岡 征二
	放電加工		山崎 実
6月29日	切削加工	都立産業技術研究所	横澤 毅
	研削加工	元(独)産業技術総合研究所	和井田 徹
7月1日	最近のプレス機械	アイダエンジニアリング(株)	八木 隆
	精密測定技術	都立産業技術研究所	樋田 靖広
7月2日	機械材料の特性	元都立産業技術研究所	佐々木武三
	新加工技術総論	東京工科大学	福井 雅彦
7月5日	(実習)材料試験	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)加工部品の精密測定		
7月6日	(実習)旋削加工	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)放電加工	東京都技術指導員	谷貝 忠
		都立産業技術研究所	職 員

7月8日	(実習)研削加工	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)エンミドル加工技術		
7月9日	(実習)マイクロ放電加工	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)金属プレス	城南地域中小企業振興センター	基 昭夫
		都立産業技術研究所	職 員
7月12日	(実習)粉末冶金	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)表面観察		
7月13日	超音波応用加工	日本工業大学	神 雅彦
	熱処理と表面改質	多摩中小企業振興センター	仁平 宣弘

アパレル製品企画のためのCG活用(第1回)

月 日	科 目	講 師	
9月14日	Macの基本操作 (Windowsとの違いを中心に)	都立産業技術研究所	大橋 健一 小高久丹子
	CG作成の基礎 (解像度、ファイル形式等)		
	(実習)4D-box 実地記事から配色替えの作成 スキャナ取り込み、色まとめ、配色替え スピーディに柄を作成 ストライプ、水玉、チェック		
	(実習)Illustrator ベジュー曲線による描画 ハンガ-イラスト(平絵)の作成		
	(実習)Photoshop 素材集の活用と画像の加工 ハンガ-イラストに、柄を加工		

アパレル製品企画のためのCG活用(第2回)

月 日	科 目	講 師	
9月16日	Macの基本操作 (Windowsとの違いを中心に)	都立産業技術研究所	大橋 健一 小高久丹子
	CG作成の基礎 (解像度、ファイル形式等)		
	(実習)4D-box 実地記事から配色替えの作成 スキャナ取り込み、色まとめ、配色替え スピーディに柄を作成 ストライプ、水玉、チェック		
	(実習)Illustrator ベジュー曲線による描画 ハンガ-イラスト(平絵)の作成		
	(実習)Photoshop 素材集の活用と画像の加工 ハンガ-イラストに、柄を加工		

工業材料の分析と評価

月 日	科 目	講 師	
9月16日	所内見学	都立産業技術研究所	職 員
	プラスチックの劣化と廃棄物処理		山本 真
9月17日	有機分析概論	埼玉大学	佐藤 勝
	機能性有機材料	エニギルタフオットメーヅィング(株)	田中 真理
9月21日	無機分析概論	東京理科大学	田中 龍彦
	金属材料と組成分析	エアアイ・ナテクノロジー(株)	川田 哲
9月22日	表面分析概論	千葉工業大学	坂本 幸弘
	ガラス材料	東京工業大学 名誉教授	山根 正之
9月27日	(実習)グループ1. 有機材料の分析と評価 (液体クロマトグラフ分析法・有機元素分析法・赤外分光分析法・他5)	都立産業技術研究所	職 員
10月28日	(実習)グループ2. 無機材料の分析と評価 (試料観察法・蛍光X線分析法・熱分析法・走査型電子顕微鏡観察法・他4)		
	(実習)グループ3. 金属材料の分析と評価 (アーク発光分光分析法・X線回折法・熱分析法・他5)		

環境保全・分析技術

月 日	科 目	講 師	
11月5日	有害物質対策の実務	星野技術士事務所	星野 芳明
11月8日	(実習) グループ 環境負荷低減技術と環境分析 雨水、河川水、飲料水中の陽イオン、陰イオンのイオンクロマトグラフ分析、蛍光X線分析による土壌分析 SEMによる観察、全有機炭素・全窒素分析、他2	都立産業技術研究所	職 員
29日	(実習) グループ 建材・接着剤を対象とした住環境の評価 パーティクルボード [®] 及び合板の製造・製造した建材を用いたJIS法によるカビ [®] 抵抗性試験・製造した建材を用いた JIS法によるカビ抵抗性試験 他2		

情報化時代の Java 活用技術

月 日	科 目	講 師	
11月8日	Java 言語の概要と利用法	東京電気大学	坂本 直志
	オブジェクト指向言語を用いたソフトウェア設計	日本大学	吉川 浩
11月9日	Java 言語の基礎 基本文法・制御構文	(株)グローバルE-インフォメーション	鈴木 智
	Java 言語の基礎 クラスとメソッド		
11月12日	Eclipse の基本的な使い方	都立産業技術研究所	職 員
	Swing を用いたアプリケーション開発イベント処理		
11月15日	ストリーム(ファイル入出力)・テキストエディタ開発		
11月16日	ストリーム(ファイル入出力)・デザインパターン		
11月18日	ストリーム(ネットワーク)		
11月19日	スレッドを用いたアプリケーション		
11月22日	総合演習 プログラムの保守性・クラス検証		

(2) 分野別専門研修

それぞれの業種が抱える固有の課題に対し、実習を通して実践的な解決手段を提供するとともに、現場に必要な新しい技術の修得を図る。(情報・コンピュータに関する知識、技術の実践的な修得を含む。)

エレクトロニクス製品開発のための信頼性技術

月 日	科 目	講 師	
9月14日	信頼性概論と環境試験法	城南地域中小企業 振興センター 都立産業技術研究所	三上 和正 職 員
	(実習)パソコンによる統計・データ解析、信頼性データ解析		
9月15日	プリント基板のはんだ付け評価	東京都議術アドバイザー	山本 繁晴
	(実習)分析機器による故障解析 / 電子顕微鏡・赤外線分光分析・超音波顕微鏡・X線透過装置	都立産業技術研究所	職 員
9月16日	電子機器・部品の故障解析	オリンパス(株)	柴田 義文
	(実習)分析機器による故障解析 / 電子顕微鏡・赤外線分光分析・超音波顕微鏡・X線透過装置	都立産業技術研究所	職 員

ホームページ作成とサーバ(第1回)

月 日	科 目	講 師	
9月31日	インターネットの仕組みとホームページ作成方法について	都立産業技術研究所	横田 裕史 大林 真人
10月1日	(実習)ホームページ作成演習		
	ホームページ作成方法について		
	(実習)ホームページ作成演習とFTPによるデータ更新		

最近の照明と光利用技術

月 日	科 目	講 師	
10月19日	照明の基礎	都立産業技術研究所	岩永 敏秀
	色彩の基礎		實川 徹則
	最近のディスプレイ開発動向	(株)日立ディスプレイズ	長江 慶治
10月21日	照明デザイン 心を癒す照明 - 住環境から医療福祉施設まで -	ヤマギワ(株)	手塚 昌宏
	測光機器の原理と測定ノウハウ	(株)トプコンテクノハウス	伊藤 智理
	最新のLEDの開発動向	山口大学	田口 常正
10月26日	光源の技術開発動向	千代田工販(株)	河本康太郎
	照明器具の温度測定	都立産業技術研究所	中島 敏晴
10月28日	分光放射計による測定技術	ウシオ電機(株)	仲田 重範
	光源と照明器具の測定技術	都立産業技術研究所	山本 哲雄
	(実習)各種測定器による光の測定技術		職 員
11月2日	(実習)照度計及び輝度計による測定技術	(株)トプコンテクノハウス	伊藤 智理
	(実習)測色計活用の実際	コニカミルタセンシング(株)	鷓川 浩一

放射線測定の基本(第1回)

月 日	科 目	講 師	
10月27日	放射線測定の基本と実際	都立産業技術研究所	谷口 昌平
	(実習) X線装置を利用した線量測定		職 員
	(実習) 線照射装置等を利用した線量測定		

放射線測定の基本(第2回)

月 日	科 目	講 師	
10月28日	放射線測定の基本と実際	都立産業技術研究所	谷口 昌平
	(実習) X線装置を利用した線量測定		職 員
	(実習) 線照射装置等を利用した線量測定		

3次元CAD入門(第1回)

月 日	科 目	講 師	
11月9日	CAD基本操作	キャノンシステムソリューションズ(株)	上田 拓史
	(実習) CAD演習	都立産業技術研究所	職 員

次元CAD入門(第2回)

月 日	科 目	講 師	
11月16日	CAD基本操作	キャノンシステムソリューションズ(株)	上田 拓史
	(実習) CAD演習	都立産業技術研究所	職 員

機能性スクリーン印刷

月 日	科 目	講 師	
11月17日	最近のFPD技術	東京工芸大学	佐藤 利文
	FPD製造技術		
19日	(実習)スクリーン印刷の応用	都立産業技術研究所	職 員
	・無機ELパネル・ガラスペーストの印刷・その他		

製品開発における電気的安全性とIT化技術

月 日	科 目	講 師	
11月25日	電気用品安全法による製品安全と不適合事例	(財)電気安全環境研究所	松澤 孝司
	制御システムの安全と信頼性の確保	都立産業技術研究所	坂巻佳壽美
	静電気障害とその対策		殿谷 保雄
11月26日	医用機器の電気的安全技術	都立産業技術研究所	岡野 宏
	電気的安全に関する規格とその対応		栗原 秀樹
	シーケンス制御と安全性確保技術		山本 克美
	ワンチップマイコンPICと開発環境		御代川喬志
11月30日	(実習)プログラマブルコントローラの制御技術	都立産業技術研究所	職 員
(実習)ワンチップマイコンの基本入出力機器の制御			
12月3日	(実習)ワンチップマイコンの安全確保のための活用技術		

騒音・振動測定技術

月 日	科 目	講 師	
11月25日	音響・振動の基礎	都立産業技術研究所	平間 麻子
	騒音・振動の評価方法		神田 浩一
	(実習)騒音・振動測定技術		職 員

3次元CAD入門(第3回)

月 日	科 目	講 師	
11月30日	CAD基本操作	キャノンシステムソリューションズ(株)	上田 拓史
	(実習)CAD演習	都立産業技術研究所	職 員

3次元CAD/CAEによる構造解析

月 日	科 目	講 師	
12月1日	3次元CAD/CAEの概要	都立産業技術研究所	松田 哲
	SolidWorksの基本操作		職 員
	(実習)SolidWorksによる形状モデリング		
	(実習)DesignSpaceによる構造解析の基本		
12月2日	有限要素法の基礎	都立産業技術研究所	松田 哲
	ANSYSによる構造解析の概要		職 員
	(実習)DesignSpace、ANSYSによる構造解析の基本		
12月3日	(実習)DesignSpaceによる構造解析の実際	サイバネットシステム(株)	松本 真周
	ANSYSによる解析の実際		

繊維製品の評価技術

月 日	科 目	講 師	
12月10日	繊維鑑別法の概要	都立産業技術研究所	斉藤 敏
	(実習)繊維素材の鑑別試験		職 員

ワイヤレスネットワーク技術 - 無線LANによる製品開発手法 -

月 日	科 目	講 師	
1月20日	無線LANの正しい設定方法と製品開発手法	都立産業技術研究所	佐藤 正利
	(実習)開発環境構築・無線LANの設定方法・無線通信機能の組み込み		職 員

製品の性能評価

月 日	科 目	講 師	
1月20日	試験装置概要について	都立産業技術研究所	大泉 幸乃
	(計測実習)サーモグラフィ・衣服圧測定装置・サーモラボ		職 員

ホームページ作成とサーバ(第2回)

月 日	科 目	講 師	
1月27日	インターネットの仕組みとホームページ作成方法について	都立産業技術研究所	横田 裕史 大林 真人
	(実習)ホームページ作成演習		
28日	ホームページ作成方法について		
	(実習)ホームページ作成演習とFTPによるデータ更新		

測定器具の使用方法と精度管理

月 日	科 目	講 師	
1月28日	精密測定的基础 - 精密測定的基础と測定器具の精度管理について -	都立産業技術研究所	樋田 靖広
	(実習)測定器具の使用方法と精度管理 - ブロケージ、ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージの 使用方法と制度管理 -		職 員

繊維製品の品質評価値(応用)

月 日	科 目	講 師	
2月8日	帯電性試験機の特徴と操作方法 半減期測定器 摩擦帯電圧測定器 荷電電荷料量測定装置	都立産業技術研究所	田中みどり
	(実習)上記機器操作		職 員

ホウ素規制に対するニッケルめっき技術

月 日	科 目	講 師	
2月23日	クエン酸ニッケルめっきの概要	都立産業技術研究所	土井 正
	(実習)クエン酸ニッケルめっき		職 員

ニット製品の製造技術 - 横編製品 -

月 日	科 目	講 師	
3月2日	横編製品の最新ニット技術	(株)島精機製作所	福田 明典
	(実習)横編地の編成	都立産業技術研究所	職 員

(3) 新技術セミナー

個々の中小企業者が抱える固有の課題に対し、新しい技術情報や周辺情報を提供することで、課題解決に寄与する。

放射線安全取扱技術

月 日	科 目	講 師	
5月26日	放射線の基礎	都立産業技術研究所	武藤 利雄
	放射線安全取扱に関する法令		宮崎 則之
	密封線源の安全取扱		谷口 昌平
	非密封RIの安全取扱		小山 元子
	放射線の人体に与える影響		金城 康人

繊維製品の品質評価（基礎）クリーニング業の明日を考える

月 日	科 目	講 師	
7月22日	世界のクリーニング業の大きな変化	品質情報研究所	住連木まさし
	クリーニング関連のクレーム事例	都立産業技術研究所	池田 善光

医療機器の無菌性・非発熱性の確保

月 日	科 目	講 師	
7月23日	放射線滅菌法の特徴と技術的展望	都立産業技術研究所	関口 正之
	微生物試験の理論と実践	日本バクテリア株式会社	上條 茂徳
	エンドトキシンの基礎と不活化	都立産業技術研究所	細淵 和成
	リムルステストの基礎と応用	生化学工業(株)	田中 重則

2005年秋冬ファッション予測

月 日	科 目	講 師	
9月7日	2005-2006年秋冬ファッションと求められる素材の方向性	東洋紡ファッション・ランニング・インターナショナル	車 純子
	テキスタイル・ものづくりの方向性	都立産業技術研究所	藤田 茂

繊維製品のクリーニング

月 日	科 目	講 師	
9月29日	クリーニング用材の現状と行方	(株)白洋舎	高坂 孝一
	石油系ドライクリーニングにタイする染色堅牢度試の実施状況	都立産業技術研究所	木村 千明

2005年ファッション・トレンド情報

月 日	科 目	講 師	
10月8日	2005年春夏マーチャダイジング・ディレクション	(社)日本流行色協会	中村 芳道
	・色、柄、素材、シルエット		
	・2005～2006年秋冬カラートレド		
	2005年春夏スタイリング・トレンド	都立産業技術研究所	小高久丹子

MEMS(マイクロマシン)技術

月 日	科 目	講 師	
10月19日	マイクロマシン技術の概要 マイクロマシンの要素技術と技術開発動向	横河ヒューマン・クリ エイト(株)	原田 謹爾
	超微細マイクロ放電加工 先端径 10 μ m 以下のマイクロツール加工技術とその 展開	都立産業技術研究所	山崎 実
	プラスチック MEMS 高アスベスト比レジストを用いたマイクロ構造形成と 流体チップへの応用		加藤エリト
	産技研における MEMS 技術		渡邊 耕士
	超高感度 X 線検出器とその応用展開 外宇宙探査に使われる UV-LIGA プロセスを利用したセ ンサの事例紹介		工藤 寛之
	電子線描画によるナノ加工技 最小加工線幅 10nm 以下の微細パターンニング 技術	(株)エリオニクス	田口 佳男

クリーン環境技術

科 目	講 師	
クリーンルームの概要と最近の動向 - クリーンルーム構成材料か ら発生する分子状汚染物質の測定指針 -	(株)日立空調システム	北林 厚生
クリーンルーム用各種機器の発塵性試験およびオゾン濃度試験	城東地区中小企業進 行センター	殿谷 保雄
オゾンの殺菌分野への応用	石川島播磨重工業(株)	釜瀬 幸広
オゾンの生体に及ぼす影響	産業生態研究所	山口 裕

2005～2006 年秋冬ヨーロッパ・ファッション情報(第 1 回)

月 日	科 目	講 師	
10月29日	2005～2006 年秋冬プリミューエル・ヴィジョン	(株)インファス&NTT ネットワーク	中出 順子
	2006 年春夏エキスポ・フィル解説		
	2005 年スタイリング・トレンド予測	都立産業技術研究所	大橋 健一

2005～2006 年秋冬ヨーロッパ・ファッション情報(第 2 回)

月 日	科 目	講 師	
11月5日	2005～2006 年秋冬プリミューエル・ヴィジョン	(株)インファス&NTT ネットワーク	中出 順子
	2006 年春夏エキスポ・フィル解説		
	2005 年スタイリング・トレンド予測	都立産業技術研究所	大橋 健一

切削加工の新潮流

月 日	科 目	講 師	
11月17日	ものづくりのための新加工技術	東京工科大学	福井 雅彦
	最新の切削工具	三菱マテリアルツールズ(株)	鶴岡 正男
	最新の表面処理工具	多摩中小企業振興センター	仁平 宣弘
	最新の超精密工作機械	(株) 牧野フライス製作所	金谷 潤
	最新の超高速加工機による穴あけ加工	都立産業技術研究所	西岡 孝夫

製品開発とデザイン

月 日	科 目	講 師	
11月18日	高齢者・障害者配慮のデザイン企画	都立産業技術研究所	阿保友二郎
	国内外のデザイン動向		秋山 正
	製品開発と特許・商標戦略	YKI 国際特許事務所	吉田 研二
	売するためのホームページデザイン	都立産業技術研究所	秋田 実

アパレル業界のインターネット活用術

月 日	科 目	講 師	
11月29日	アパレル業界のインターネット活用術	(株) アパレルウェブ	千金楽健司
	中高年男性の体型変化に対応したスラックスの製品化	都立産業技術研究所	藤田 薫子

最近の騒音対策技術

月 日	科 目	講 師	
12月2日	最近の騒音対策用材料・デバイス	都立産業技術研究所	高田 省一
	騒音の心理音響パラメータ		神田 浩一
	集合住宅の床衝撃音の問題と対策方法及び今後の展望	信州大学	山下 恭弘

ガラス製品の破損解析

月 日	科 目	講 師	
12月7日	ガラスの強度と破壊の基礎	滋賀県立大学	松岡 純
	ガラス製品の破損要因とやさしい破面の見方	都立産業技術研究所	陸井 史子
	ガラス製品の破損解析(事例紹介)		上部 隆男

放射線の人体影響

月 日	科 目	講 師	
1月14日	人体影響基礎	都立産業技術研究所	金城 康人
	低線量放射線のがんリスク	(独)放射線医学総合研究所	田の岡 宏
	細胞1個の照射とバイスタンダ - 効果	日本原子力研究所	小林 泰彦
	がんの放射線治療	都立産業技術研究所	宮崎 則幸

接着剤・建材のシックハウス対策と最近の潮流

月 日	科 目	講 師	
1月21日	現場施行用溶剤形ゴム系接着剤の環境対策	コニシ(株)	畑 聡介
	木質建材及び接着剤の VOC 対策と非ホルムアルデヒド化	光洋産業(株)	田村 靖夫
	工場排煙など固定発生源に対する新しいVOC 規制	東京都環境科学研究所	岩崎 好陽
	接着剤・建材のVOC 及びホルムアルデヒド放散測定の実例と測定例	都立産業技術研究所	瓦田 研介

接合技術の新しい展開

月 日	科 目	講 師	
2月7日	溶接・接合の考え方と異種金属接合	都立産業技術研究所	青沼 昌幸
	軽金属の摩擦攪拌接合	芝浦工業大学	横田 武男
	高張力鋼溶接の問題点と共同研究事例	岩手大学	中村 満
	鋼の新接合法 - A-TIG と FSW -	大阪大学	藤井 英俊

光触媒技術の最新動向 - 繊維製品への展開 -

月 日	科 目	講 師	
2月8日	光触媒技術の現状と将来展望 光触媒の標準化・規格化の動向	東京大学	入江 寛
	参加チタンコーティング剤による衣料品の消臭効果	都立産業技術研究所	榎本 一郎

医療・福祉機器の電気的安全性と製品開発

月 日	科 目	講 師	
2月14日	医療・福祉機器の安全性と製品開発	都立産業技術研究所	岡野 宏
	改正薬事法と薬事申請およびGMP 基準のポイント	東京都福祉保健局	前川 智明 吉原 茂人
	わかりやすい医療機器リスクマネジメントの実例	オリンパスメディカルシステムズ(株)	萩原 敏彦
	医療機器開発と福祉機器規格化の最新情報	防衛医科大学校	菊地 眞

ねじ製品の品質管理と最近の動向

月 日	科 目	講 師	
2月18日	ねじ締付けに関する信頼性の評価方法	都立産業技術研究所	舟山 義弘
	ねじ製品をとりまく ISO マネジメント規格 (品質・環境など)	技術士事務所イマイ	今井 義男
	6 価クロム代替処理の問題点とねじの対応	OEA ガルバノ事務所	青江 徹博
	ねじ締結体の強度と 2, 3 の問題	工学院大学	小林 光男

2005～2006 年秋冬ファッション・トレンド情報（第1回）

月 日	科 目	講 師	
2月21日	2005-2006 年秋冬マーチャンダイジング・ディレクション ・色・柄・素材、シルエット ・2006 年春夏カラー・プレビュー	(社)日本流行色協会	中村 芳道
	ADI(アパレルデザイン・オンフォメーション) 2005-2006 年秋冬号	都立産業技術研究所	小高久丹子 大橋 健一

ナノカーボンの実用化に向けて

月 日	科 目	講 師	
2月25日	ナノカーボンの凝集と分散技術	都立産業技術研究所	柳 捷凡
	カーボンオニオン - 新たな個体潤滑剤としての可能性 -	東京工業大学大学院	平田 敦
	ナノダイヤモンド分散複合材料の開発	産業技術総合研究所	花田幸太郎
	カーボナノチューブの物性と応用	名古屋大学大学院	齋藤 弥八
	ナノカーボンの分析評価技術	(株)堀場製作所	中田 靖

2005～2006 年秋冬ファッション・トレンド情報（第2回）

月 日	科 目	講 師	
2月28日	2005 - 2006 年秋冬マーチャンダイジング・ディレクション ・色・柄・素材、シルエット ・2006 年春夏カラー・プレビュー	(社)日本流行色協会	中村 芳道
	ADI(アパレルデザイン・オンフォメーション) 2005-2006 年秋冬号	都立産業技術研究所	小高久丹子 大橋 健一

全有機炭素(TOC)分析装置の原理と実際

月 日	科 目	講 師	
3月7日	水中有機物測定の基本	都立産業技術研究所	山崎 正夫
	燃焼酸化型 TOC 分析計	(株)島津製作所	森田 洋造
	環境試料の TOC 測定例	東京都立大学大学院	山崎 公子
	ガス透過型 TOC 分析計	セントラル科学(株)	江原 康夫

ダイカストの製造技術の勘どころ

月 日	科 目	講 師	
3月9日	ダイカストの特性に及ぼす不純物元素の影響とその事例	都立産業技術研究所	佐藤 健二
	高真空ダイカストの技術動向とその適用事例	日立金属(株)	金内 良夫
	ダイカスト用金型における表面処理と長寿命化のノウハウ	ウッデホルム(株)	日原 政彦
	ダイカスト用低品位アルミニウム合金の組織とその特性	都立産業技術研究所	渡部友太郎

最近の環境規制と対策 - 欧州有害物質規制指令の動向 -

月 日	科 目	講 師	
3月15日	中小製造業者の環境対策	都立産業技術研究所	小坂 幸夫
	最新 WEEE・RoHS・ELV(USA・国内も含む)の動向と今後の対応	日本電子(株)	松浦 徹也
	WEEE・RoHSの動向と試験所認定の意義	(株)分析センター	黒澤 勝
	WEEE・RoHS 指令への対応ー蛍光 X 線分析法によるプラスチック分析	日本電子(株)	安東 和人

7.6 開放試験

中小企業の新製品開発や品質の向上を支援するため、各種の測定器、試験設備等を設置し、企業に開放するとともに技術指導を行った。

平成 16 年度開放試験の試験項目及び実績件数・金額は次のとおりである。

開放試験項目	件数	金額(円)
指示計器(交流電圧・直流・交流電圧電流計)	33	1,750
定数測定器・測定用素子(インピーダンス・ミリオーム・撻動抵抗器・可変抵抗減衰器)	71	10,310
電圧・周波数測定器(デジタルボルトメータ・マルチメータ)	35	10,720
信号発生器及び発信器(高周波ノイズシミュレータ・静電気障害試験器)	908	472,340
校正装置(直流校正装置、交流標準電圧電流発生器)	35	13,170
波形測定器及び記録装置(デジタルオシロスコープ・温度記録計)	761	134,910
電源装置その他(電圧調整器・直流定電圧電源)	488	105,480
試験機械(万能試験機・硬さ試験機)	262	172,290
測定機器(万能投影器・工具顕微測定機・歯車試験機)	141	102,380
環境試験機器(低温恒温恒湿槽・冷熱衝撃試験装置・振動試験・衝撃試験機・雷サージ発生器)	5,335	11,614,650
試験機器(粘弾性スペクトロメータ・耐電圧試験器)	22	58,480
記録解析機器(放射電界測定器・FFTアナライザ・実時間分析器)	4	8,920
観察機器(X線顕微鏡・写真顕微鏡装置・金属顕微鏡)	13	15,220
加工機器(クリーンルーム・発塵性試験装置)	32	82,940
繊維計測機器(自動強伸度試験・定温乾燥機・静電気測定器・サーモグラフィー)	1,810	1,545,340
染色試験・生産加工機器(ウインス染色機・工業用ミシン・転写なせん装置・ニードルパンチ機)	899	966,310
その他の試験機器(デザイン作成システム・整経機・コンピュータ制御編機)	226	321,770
合 計	11,075	15,636,980

7.7 オープン・ラボ

中小企業と協力、共同して、製品・技術開発等を行うインキュベーション機能を有するオープン・ラボを 2 室開設し、研究開発型企業の育成、共同開発研究等の支援を行った。

平成 16 年度は、次のような共同研究を促進する目的に利用した。

室名	事業名	課題名	期間
ラボ・	地域新生コンソーシアム研究開発	高性能水素吸蔵合金及びその製造装置の開発	4月30日～7月30日
			8月1日～10月31日
	地域新生コンソーシアム研究開発	パターンマッチング回路の超高速化とフィルタリング装置への応用	11月4日～2月3日
			2月4日～3月31日
ラボ・	共同開発研究	抵抗測定用不確かさ評価手法の開発	6月1日～8月31日
			9月1日～11月30日
			12月1日～2月28日

7.8 放射線施設利用

駒沢庁舎（放射線利用施設）では、放射線利用の新技术、放射線測定、放射線を安全に利用するための知識・技術などの放射線施設利用による技術指導を行った。平成 16 年度の実績は次のとおりである。

76 件 714,000 円

7.9 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源の乏しい中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供しあい、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が、有効な手段の一つとなる。そこで、こうした交流を促進するための支援策として、新グループを発生させる、1) グループ形成支援、発足しているグループ間の連携を促進させる、2) グループ間交流支援の 2 施策を行った。

1) グループ形成支援

産業技術研究所では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和 59 年度から毎年 1 グループ、平成 10 年度と平成 11 年度は 2 グループを発足させている。現在 21 グループ約 310 社の会員が活動している。

平成 16 年度は、異業種交流グループを公募により結成し、専門の助言者を配置して定例会を開催したほか、技術交流を促進するために、工場見学を実施した。平成 16 年度の開催実績は次のとおりである。

日 時	会 議 名	参加者数
7 / 22	東京都異業種交流事業 H16 グループ （発会式・定例会）	36
8 / 17	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	30
9 / 16	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	29
10 / 14	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	31
11 / 16	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	24
12 / 16	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	20
1 / 20	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会・見学会）	16
3 / 17	東京都異業種交流事業 H16 グループ （定例会）	24
4 / 19	東京都異業種交流事業 H16 グループ （総会・定例会）	20

2) グループ間交流支援

(1) 東京都異業種交流グループ グループ協議会の開催

既存グループの活動状況を報告し合い、互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催した。平成 16 年度の開催実績は次のとおりである。

日 時	会 議 名	参加者数
5 / 27	グループ協議会	22

(2) 東京都異業種交流グループ 合同交流会・合同交流会実行委員会の開催

グループ間の交流を深めるために、年1回、全グループのメンバーが一堂に会する合同交流会を開催し、ポスターセッション、特別講演、成果事例発表等を行った。開催に当たっては、各グループから選任された委員により合同交流会実行委員会を設置した。平成15年度の合同交流会・合同交流会実行委員会の開催実績は次のとおりである。

日 時	会 議 名	参加者数
7 / 13	合同交流会実行委員会 (第1回)	21
9 / 2	合同交流会実行委員会 (第2回)	17
10 / 7	合同交流会実行委員会 (第3回)	13
11 / 4	合同交流会実行委員会 (第4回)	17
12 / 2	合同交流会実行委員会 (第5回)	12
1 / 13	合同交流会実行委員会 (第6回)	21
2 / 9	合同交流会 (都民ホール・都政ギャラリーで開催)	203
2 / 25	合同交流会実行委員会 (第7回)	12

(3) 旧異業種交流グループへの支援

すでに自主運営に移行している旧20グループについても、希望グループに対する連携担当者の設置、会議室の利用、技術的内容の講演依頼への対応等、グループ活動の支援を行ってきた。平成16年度、旧異業種交流グループの当所利用、定例会等の実施数は次のとおりである。

実 施 数	
回 数	のべ参加者数
56	607

(4) ものづくりネットワーク促進室の活用

設置目的

国の「地域融合化促進事業」により、当所に融合化のための情報交換・諸会議開催機能を有するものづくりネットワーク促進室を設置し、交流促進を図る。

ものづくりネットワーク促進室の概要

産業技術研究所の近在である城北地域のグループまたは、企業、及び産業労働局商工部と当所で共同設置したグループ(平成16年度21グループ)の活動拠点とする。

運営及び管理

- a 開室日及び時間 当所休日を除く9時～17時
- b 利用申し込み方法 来所または電話予約
- c 運営管理部所 産学公連携室 産学公交流係

利用実績

利 用 数		
件 数	企 業	参加者数
31	271	275

7.10 業種別技術協議会・分科会

研究、指導等の事業計画を策定するにあたり、必要かつ確かな技術情報を把握するための会議である。業界の代表者を招き、情報の交換等を技術協議会（全体会議）および技術分科会（分科会議）で行った。

1) 業種別技術協議会

業 界 名	開催日	出席者	内 容
区内繊維関連業界	H16. 7.21	業界側 30名 都側 10名	所及び局事業の説明を行い、区内繊維関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
多摩繊維業界	H16. 7.14	業界側 19名 都側 12名	所及び局事業の説明を行い、多摩繊維業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
東部金属熱処理工業組合	H16. 7.14	業界側 14名 都側 12名	所及び局事業の説明を行い、東部金属熱処理工業組合の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
東京都鍍金工業組合	H16. 8. 5	業界側 11名 都側 17名	所及び局事業の説明を行い、東京都鍍金工業組合の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。

2) 業種別技術分科会

業 界 名	開催日	出席者	内 容
東京都設計管理研究会	H16. 7.14	業界側 53名 都側 4名	所の事業説明、技術紹介、施設見学を行い、技術上の問題点や所および研究会の保有する技術情報の交換を行った。
日本ダイカスト工業協同組合	H16. 8.31	業界側 9名 都側 3名	所での技術の取り組みを説明し、ダイカストに関する技術情報や動向、技術上の問題点などについて意見交換を行った。
センサ技術応用・信頼性技術研究会	H16.10.18	業界側 20名 都側 5名	それぞれの技術に関する説明および所内見学を行い、技術上の問題点について意見交換および討議を行った。
東京都金属プレス工業会	H16.12.16	業界側 5名 都側 5名	所内見学を行い、工業会の抱える技術上の問題点と対策について討議・意見交換を行った。
超音波応用懇談会	H17. 1.26	業界側 10名 都側 3名	所の事業説明を行い、懇談会の現状や技術的課題、所への要望などについて意見交換を行った。
計測制御研究懇談会・P C 情報研究会・制御システム 研究会	H17. 2.16	業界側 88名 都側 5名	それぞれの会が抱える技術的課題および最近の技術動向等に関して意見交換および討議を行った。
照明技術研究会	H17. 2.22	業界側 15名 都側 4名	所の事業説明を行い、業界の現状や技術的課題、所への要望などについて意見交換を行った。
東京工業塗装協同組合	H17. 2.15	業界側 7名 都側 4名	所の研究への取り組みについて説明および討議を行い、活動状況などについて意見交換を行った。
東京鼈甲組合連合会	H17. 3.30	業界側 27名 都側 6名	所の研究成果等について説明および討議を行い、活動状況などについて意見交換を行った。

7.11 技術研究会

技術力及び技術開発力の向上をめざす中小企業の技術者と共に技術研究会を設立し、製品開発等、技術情報の交換を積極的に行った。

番号	名称	設立年月	活動目的	企業側総参加者数 (都側)	開催回数
1	静電気研究懇談会	昭和 51 年 4 月	静電気に関する技術の向上、研究討論会・発表会の開催、技術資料の収集	6 (1)	1
2	計測制御研究懇談会	昭和 52 年 12 月	計測制御技術の向上、研究発表会・講習会等の開催、情報収集等	255 (46)	23
3	銅合金鋳物研究会	昭和 53 年 11 月	銅合金鋳物に関する技術の向上、研究討論会・発表会・講習会等の開催等	26 (2)	2
4	化学技術研究会	昭和 62 年 4 月	化学技術の向上、相互の技術交換	77 (6)	5
5	静電植毛技術研究会	昭和 62 年 8 月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会等の開催、技術資料の収集	7 (10)	1
6	超音波応用懇談会	昭和 63 年 3 月	超音波及び周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流等	170 (25)	8
7	締結問題研究会	昭和 63 年 3 月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会等の開催、技術資料の収集	26 (8)	2
8	センサ技術応用研究会	平成元年 2 月	センサの開発・応用に関する技術の向上、情報交換、講演会等の開催、資料収集	0 (0)	0
9	PC 情報研究会	平成元年 7 月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催等	114 (25)	12
10	トライボコーティング技術研究会	平成 6 年 11 月	表面改質技術及びその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究を実施する	285 (9)	5
11	東京都健康・福祉機器産業化技術研究会	平成 8 年 4 月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用について研究	45 (11)	2
12	電気設備技術研究懇談会	平成 9 年 3 月	電気設備、電気応用機器の諸問題及び業界の技術上の課題等について研究を行う	0 (0)	0
13	粉末冶金技術研究会	平成 9 年 4 月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究等を実施	120 (2)	2
14	信頼性技術研究会	平成 9 年 4 月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会等の開催、技術情報交換	41 (3)	3
15	制御システム研究会	平成 9 年 6 月	制御システム全般について、製品開発に必要な技術力向上を目指すことを目的とする	20 (3)	1
16	制振・防音技術研究会	平成 10 年 2 月	建築物の騒音対策における制振技術について情報収集、情報交換等を行う	11 (5)	1
17	繊維製品品質研究会	平成 12 年 5 月	繊維製品を消費科学の立場から研究し、その品質向上に寄与する	15 (2)	1
18	光交流会	平成 12 年 8 月	オプトレクに興味を持つ異業種交流団体が、当所を光情報の交換の場として活動する	0 (0)	0
19	火山灰利用研究会	平成 13 年 7 月	三宅島等の火山灰等を有効利用するための研究・開発技術および関連情報の交換を行う	0 (0)	0
20	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成 13 年 10 月	エバ-カルファッション製品及び高齢者対応製品の開発支援・情報交換を行う	99 (25)	10
21	環境分析研究会	平成 13 年 11 月	環境汚染の浄化及び環境汚染を未然に防止するための技術について研究調査する	0 (0)	0
22	東京照射利用研究会	平成 14 年 1 月	放射線照射による滅菌の技術的課題の検討、医療用具以外への適用の可能性を調査する	0 (0)	0
23	クリーニング技術研究会	平成 14 年 2 月	クリーニング並びに仕上げ技術の向上と、各企業の連携強化・情報交換を行う	0 (0)	0

番号	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業側総参加者数(都側)	開催回数
24	照明技術研究会	平成 14 年 3 月	照明技術の研究を行うと共に、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換を行う	55 (15)	5
25	ドライ加工研究会	平成 14 年 5 月	ドライ加工に関する最新情報を提供し、無潤滑プレス加工の実用化について検討する	35 (8)	2
26	資源環境技術研究会	平成 14 年 5 月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	75 (29)	6
27	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成 14 年 7 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	39 (6)	3
28	青梅繊維産業研究会	平成 14 年 9 月	青梅の優れた綿製品製造技術を活かし、快適で安全な繊維製品を開発する	15 (2)	1
29	循環型技術研究会	平成 15 年 1 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	30 (1)	1
30	C A D / C A M 研究会	平成 15 年 6 月	C A D / C A M ソフトや各種工作機械に関する情報収集、製品開発における連携推進と技術情報交換	155 (29)	16
31	触覚文字フォアフィンガー研究会	平成 15 年 7 月	浮き出し文字にして表示するための読みやすく触読しやすくしオリジナル書体の開発を行い広く普及させる	84 (10)	10
32	クラスター利用技術研究会	平成 15 年 9 月	クラスター・ナノ粒子の利用技術・評価法等の情報収集、共同研究等の実施。技術力・製品開発力の向上	28 (4)	2

7.12 ものづくり情報通信技術融合化支援センター

技術進歩の激しい今日にあって、中小企業が生き抜いていくためには先端的な技術を中心に主体性を持った研究開発を行う必要がある。当所では、平成12年度に中小企業総合事業団の委託「ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業」により整備した機器を活用し、中小企業への技術研修、受託事業、共同研究を行い中小企業の技術力の向上を図った。

事 業 名	内 容	実 績
3次元CAD/CAM/CAEシステムを用いた機械器具製造業のためのIT融合化支援研修プロジェクト	3次元CADシステムが急速に発展しているが、機械系中小製造業における3次元CADと情報通信技術への取り組みは緒についたばかりである。そこで、大企業とのデジタルデバイドの早期解消のために、中小企業事業団の平成12年度委託事業（補正予算）「ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業」によりCAD/CAM/CAE研修設備を整備し、3次元CADと情報通信技術融合促進について研修を行った。 本事業は平成15年度で終了した事業であるが、平成16年度においても継続実施した。	研修 4件 (延べ6日間)